

2022年5月期第1四半期 決算説明資料

2021年10月6日

 三協立山株式会社

業績結果

	2022/5期 1Q実績	2021/5期 1Q実績
売上高	782	663
営業利益	15	▲ 2
営業利益率	1.9%	▲0.4%
経常利益	13	1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	▲ 6

<参考> (億円)

前年同期比(*1)	
増減額	%
118	+17.9%
17	-
	+2.3p
12	+958.0%
12	-

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示
 (*1)2022/5期より「収益認識に関する会計基準」等を適用、
 前年同期比は参考値として記載しております

✓ すべての事業で前年同期比増収増益

✓ 売上高は 約118億円増収

前年同期比で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞していた経済活動の回復が進んだことや、アルミ地金市況に連動する売上増加などにより増収。

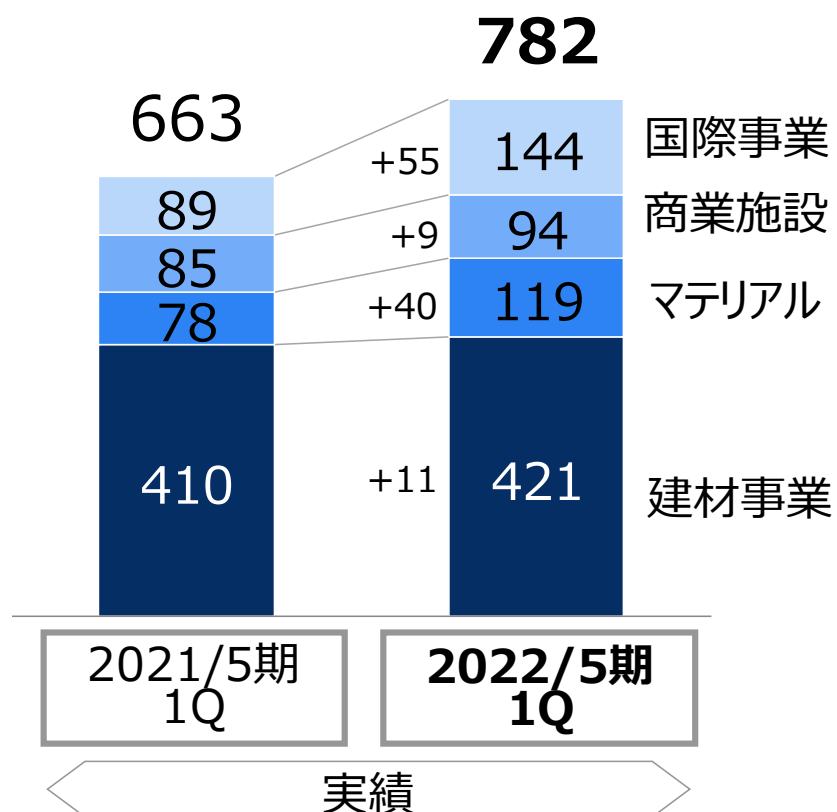
✓ 営業利益は 約17億円増益

市場回復をうけた売上増加を中心に、業務改革などによるコスト削減や国際事業での利益改善により増益。

売上高

782 億円

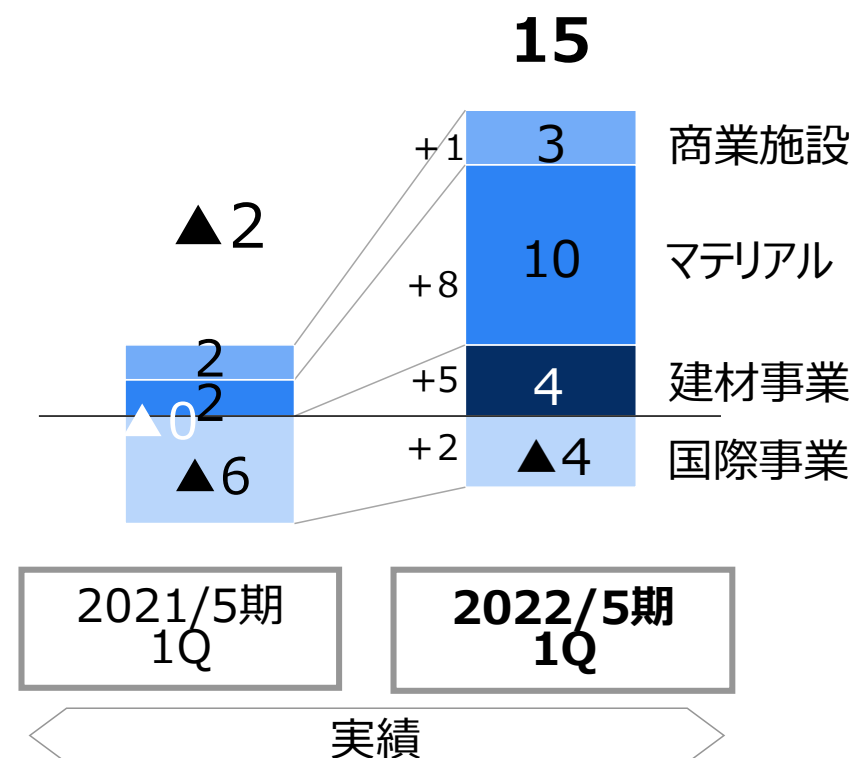
前年同期比 + 118 億円



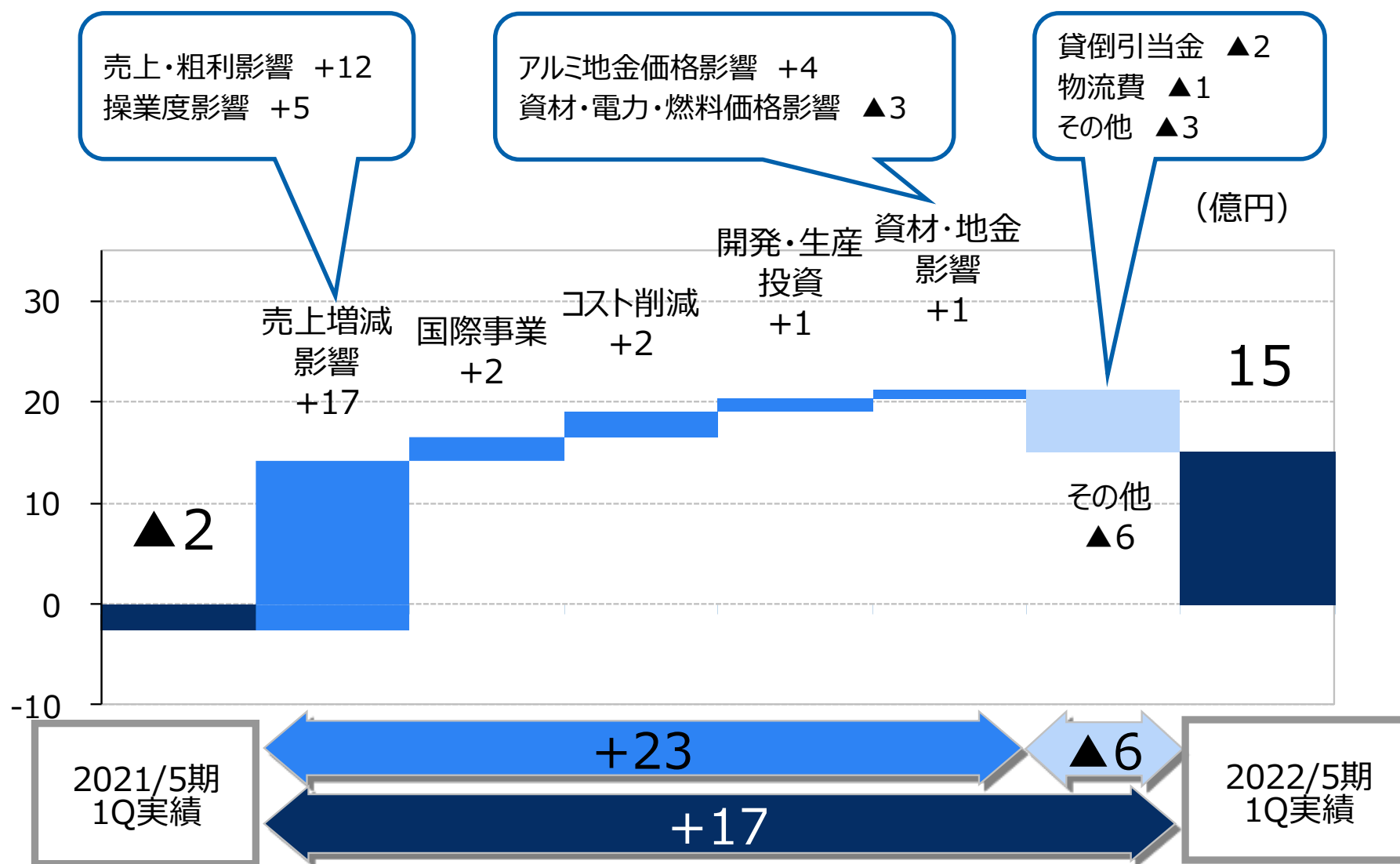
営業利益

15 億円

前年同期比 + 17 億円



※金額は億円未満切り捨て表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示

参考資料



「第15回キッズデザイン賞」を受賞 バルコニー「オルネ」／DI窓（ダイナミックインシュレーション窓）

（主催：キッズデザイン協議会、後援：経済産業省、内閣府、消費者庁）



【受賞部門】 子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



✓ バルコニー「オルネ」

バルコニー「オルネ」は、窓の外の空間を有効活用することにより、外出を控えている状況でも、自宅で安心して手軽にアウトドアを楽しめるバルコニーです。子育て期の育児・家事に追われがちな中でも、家族皆で一緒に安心して楽しく快適に過ごせるように、安全性と快適性への配慮、機能アイテムの充実により、子育て環境の向上と身体的・心理的な負担軽減を図ります。

「BEYOND COVID-19 特別賞」を受賞



✓ DI窓（ダイナミックインシュレーション窓）

DI窓は、窓を開けずに換気ができる二重窓です。上枠に換気機能を持たせ、給気される空気を外窓と内窓の間に流す事で、窓から逃げようとする熱（暖気・冷気）を回収し、室温に近い換気をおこなえます。これにより、小さなお子さまがいても、窓を開けずに安全・安心に換気しながら、冬はあたたかく、夏はこころよい空間をつくれます。

* DIとは、熱が逃げる方向と逆方向に空気の流れをつくることで断熱性能を高める技術

イエナカ生活 換気対応

✓ 玄関用収納網戸

6～8月 累計売上
前々年比**129%**



「アコーディオン網戸」 「てまノン網戸」

既存の玄関ドアや引戸に取り付けて風を採り入れる。「てまノン網戸」は丸洗いできるのでいつもキレイ。

✓ バランス式逆流防止窓 ✓ 自然換気システム

6～8月 累計受注
前年比**116%**



「スウインドウ」

風の力で自動開閉し効率よく換気。省エネにも寄与。

「ARM-S@NAV」

風力・温度差を利用して建物に風を採り入れる。

✓ テラス囲い

6～8月 累計売上
前々年比**115%**



「晴れもようwith」

「風の流れ」をデザインし、より楽しくより快適なランドリースタイルを提案。

✓ ガーデンルーム

6～8月累計売上
前々年比**128%**

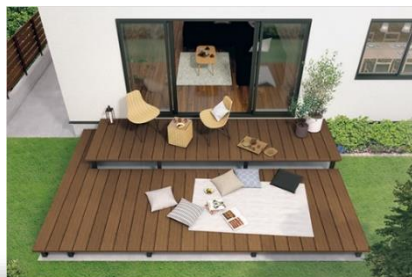


「ハッピーナリラ」

日中からナイトシーンまで快適なリラックス空間を。

✓ アウトドアリビング

6～8月累計売上
前々年比**106%**



「人工木デッキ ひとと木キュアーズ」

リアルにこだわった本物志向の木調デッキ。

✓ インテリア建材

6～8月累計売上
前々年比**118%**

「AMiS」

在宅でのリモート空間を確保する可動パーテーション。



	対象期間	2019年	2020年	2021年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-6月	23.4万戸 (4.7%減)	20.4万戸 (12.6%減)	22.1万戸 (8.3%増)
新設住宅着工戸数 [持家]	4月-6月	7.9万戸 (9.6%増)	6.4万戸 (18.2%減)	7.2万戸 (11.7%増)
新設住宅着工戸数 [貸家]	4月-6月	8.6万戸 (14.9%減)	7.6万戸 (12.3%減)	8.4万戸 (10.6%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-6月	18.8百万㎡ (5.5%減)	17.2百万㎡ (8.9%減)	18.1百万㎡ (5.7%増)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-8月	8.7万 t (0.1%増)	7.2万 t (17.8%減)	8.2万 t (14.8%増)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗(民間建築主)]	4月-6月	1,843棟 (7.9%減)	1,259棟 (31.7%減)	1,416棟 (12.5%増)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-6月	122.5万台 (13.6%減)	47.5万台 (61.2%減)	79.7万台 (67.8%増)
タイ自動車生産台数	4月-6月	50.4万台 (2.4%減)	15.2万台 (69.8%減)	37.9万台 (148.5%増)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-8月	243.9円/kg (18.0%減)	225.0円/kg (7.7%減)	342.4円/kg (52.1%増)

() は前期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3か月実績				実績累計 (億円)			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	410	421	+11	+2.7%				
2Q	472				882			
3Q	435				1,318			
4Q	488				1,806			
'22/5期通期計画						1,880		

- ・建築着工に復調の動きがみられたこと
- ・キャンペーンなどの販売促進施策や国の助成金政策なども寄与し、改装・リフォーム分野が好調に推移したこと
- ・イエナカ生活、換気、非接触対応商品などの販売増加など

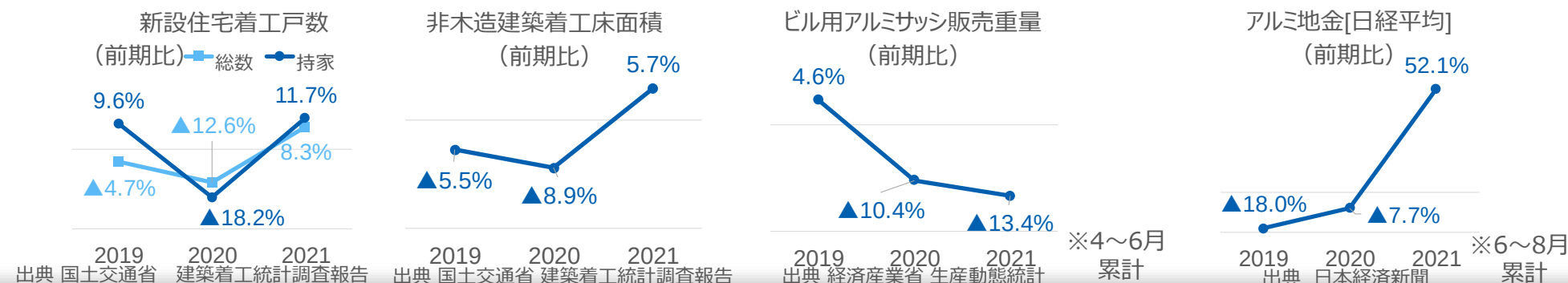
セグメント利益

	3か月実績				実績累計 (億円)			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	▲0	4	+4	-				
2Q	14				14			
3Q	4				18			
4Q	18				37			
'22/5期通期計画						24		

- ・資材価格の値上がりによる材料費の上昇影響があったものの、売上の増加や収益改善施策を進めたことなど

(*1)2022/5期より「収益認識に関する会計基準」等を適用、増減額、増減率は参考値として記載しております

事業環境



※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3か月実績				実績累計 (億円)			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	78	119	+41	+52.6%				
2Q	100				179			
3Q	102				282			
4Q	114				396			
'22/5期通期計画						475		

- ・半導体製造装置向けの設備投資や自動車販売台数増加に伴い受注が好調であったこと
- ・アルミ地金市況に連動する売上増加など

セグメント利益

	3か月実績				実績累計 (億円)			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	2	10	+8	+400.0%				
2Q	10				12			
3Q	8				20			
4Q	5				25			
'22/5期通期計画						22		

- ・売上の増加や、操業度の上昇など

(*1)2022/5期より「収益認識に関する会計基準」等を適用、増減額、増減率は参考値として記載しております

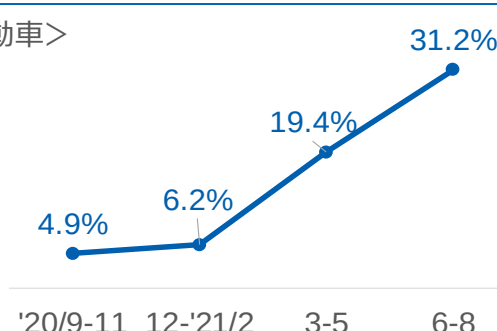
事業環境

国内アルミ型材押出重量
(前年同期比)

<一般機械>



<自動車>



出典 日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3か月実績				実績累計			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	85	95	+10	+11.8%				
2Q	114				199			
3Q	86				286			
4Q	102				388			
'22/5期通期計画						375		

・積極的に投資を行っている流通小売業を中心に、既存店改装需要を取り込んだことなど

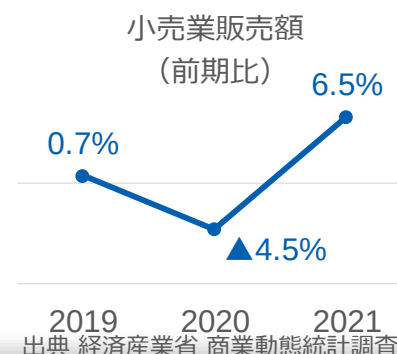
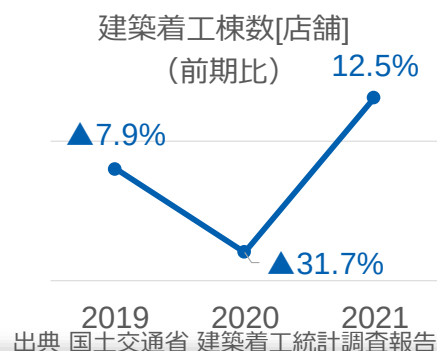
セグメント利益

	3か月実績				実績累計			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	2	3	+1	+50.0%				
2Q	8				10			
3Q	3				14			
4Q	6				20			
'22/5期通期計画						9		

・鋼材価格の値上がりによる材料費の上昇影響があったものの、売上の増加や業務効率化による販管費抑制を進めたことなど

(*1)2022/5期より「収益認識に関する会計基準」等を適用、増減額、増減率は参考値として記載しております

事業環境



※4~6月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3か月実績				実績累計 (億円)			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	89	144	+55	+61.8%				
2Q	98				187			
3Q	102				290			
4Q	127				418			
'22/5期通期計画						455		

- ・欧州・タイにおいて自動車市場や建材市場が回復
- ・欧州を中心にEV需要増による販売物量の増加
- ・アルミ地金市況に連動する売上の増加

セグメント利益

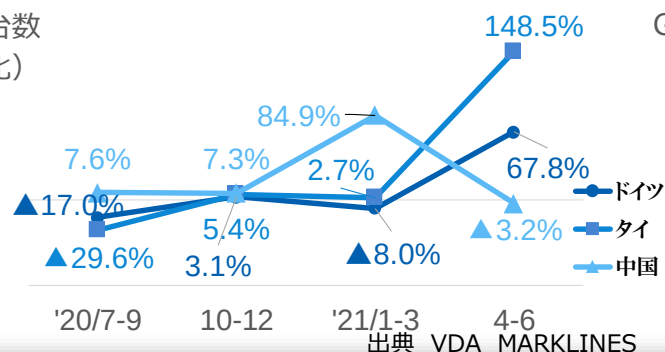
	3か月実績				実績累計 (億円)			
	'21/5期	'22/5期	増減(*1)		'21/5期	'22/5期	増減(*1)	
1Q	▲6	▲4	+2	-				
2Q	▲9				▲15			
3Q	▲9				▲25			
4Q	▲10				▲35			
'22/5期通期計画						▲17		

- ・売上の増加や、販売構成の改善など

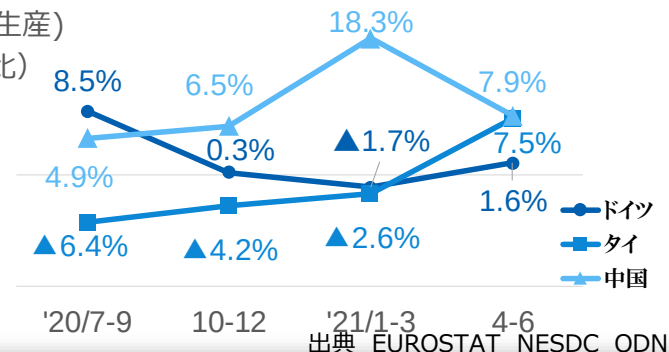
(*1)2022/5期より「収益認識に関する会計基準」等を適用、増減額、増減率は参考値として記載しております

事業環境

自動車生産台数
(前年同期比)



GDP (国内総生産)
(前年同期比)



【 計画前提・実績 】

		期中 平均値	2021/5期 1Q実績	2022/5期 前提（通期）	2022/5期 1Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～8月	225.0円/kg	325.0円/kg	342.4円/kg
為替	ドル	4～6月	107.6円	110.0円	109.5円
	ユーロ	4～6月	118.6円	127.0円	131.9円
	バーツ	4～6月	3.4円	3.5円	3.5円
	元	4～6月	15.2円	16.3円	17.0円



「SDGs：持続可能な開発目標」は全ての人々が豊かで満たされた生活を享受できる世界像を掲げており、当社の経営理念や、CSR活動が目指すものと重なる点が多くあります。私たちの日々の事業活動を通じて、今後もSDGsの達成に貢献します。

～ 三協立山 経営理念 ～

お客様・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

C S R 活動

E S G	S D G s
E 環境	     
S 社会	         
G ガバナンス	  

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。